

問7 活動の休止等に代え、新たにおこなった取り組みがあれば記入ください

- ・休園中、自宅待機中のご家族・親子で楽しんで頂けるように YouTube にて、保育園オリジナルの【英語プログラム】
- ・web 会議の導入、遠隔支援の検討、・YouTube での動画配信（メッセージ動画）、・Zoom による会議等
- ・遠隔による授業
- ・オンライン活用し相談、教育、又メール、電話もフルに活用した
- ・オンラインでのオープンキャンパス（広報活動）の実施
- ・外出支援が出来ない為、室内で物作り・音楽・英語・ダンス等室内で楽しめる行事を増やした
- ・家庭保育の子どもに、歌や絵本の動画配信をした
- ・検温。子ども用玩具消毒。給食時、子どもが対面にならないように。常時換気
- ・ご自宅への訪問を行い、自宅でできるようなことを提案した
- ・今後、施設内にて職員がイベントを行っていく方向
- ・今後予定されていた保護者参加行事の中止
(保育参観、親子遠足など)
- ・在宅ワーク、リモートワークの推進と模索の開始
- ・三密にならないよう活動を工夫する。しかし子どもが楽しかったと思うよう工夫する
- ・時差出勤実施
- ・施設内で出来るレクで楽しんでもらった
- ・授産作業の受注量の減少を受け、新規取引先を2件開拓した
- ・手話劇をマミーで実施（少数制）
- ・上記の対策などを実施した上で、事業活動を継続しております
- ・電話による再診
- ・ホームページの見直し・機関紙の配信



お知らせ

第3回「地域広報見本市」開催

第3回「地域広報見本市」が区役所1階の区民ギャラリーで開催されます。地域の広報誌、チラシに加え、今年は地域行事の紹介もします。是非、ごらんください。



期間:3月15日(月)~4月13日(火)【予定】

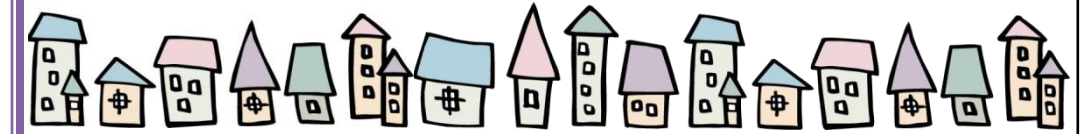


淀川区まちづくりセンター
〒532-8501 大阪市淀川区十三東 2-3-3 淀川区役所 4階
TEL 06-6309-5656 FAX06-6309-5657
mail yodogawa-machikyuu@festa.ocn.ne.jp
HP https://yodomachi-new.jimdofree.com/
Facebook https://www.facebook.com/ymachisen

2回目の緊急事態宣言が出されるなど、まだまだ油断できない状況です。アンケートの結果は、皆さんがご苦労されながらも様々な工夫をされてきた事が伺えます。来年度は少しでも地域の活動が再開されればと思います。少しずつ春に向かってきています。明るい気持ちをもって過ごしたいものです(miya)

令和
VOL29
2021年3月

淀川まちセン通信



淀川まちセン通信は、淀川区の地域活動協議会に関する情報発信、淀川区まちづくりセンターの活動紹介、多様な地域資源の紹介を目的に発行しています。

新型コロナウイルス感染症に関する意識調査結果報告(その2)

新型コロナウイルス 2回目の緊急事態宣言が出されました。前号に引き続き淀川区内の企業、福祉施設、学校などが、どのように対応し、どのように乗り越えてきたか、地域との連携や情報収集についてどのように感じたかを調査する目的で、「新型コロナウイルス感染症に関する意識調査」を実施しましたのでご報告いたします。

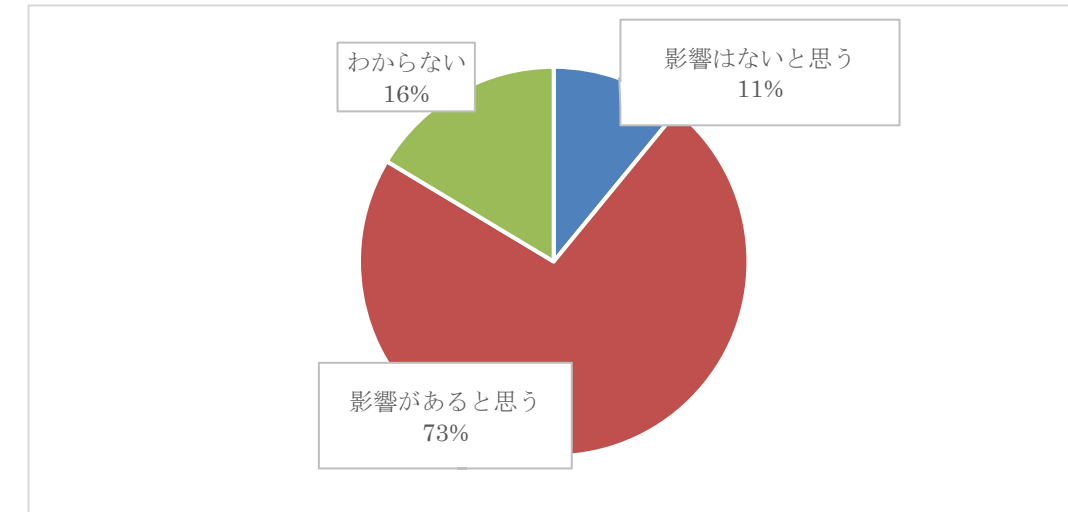
実施期間:2020年8月6日(木)~8月31日(月)

配布団体:淀川区内の企業、福祉施設、幼稚園、保育園、専門学校、NPO等 計387団体

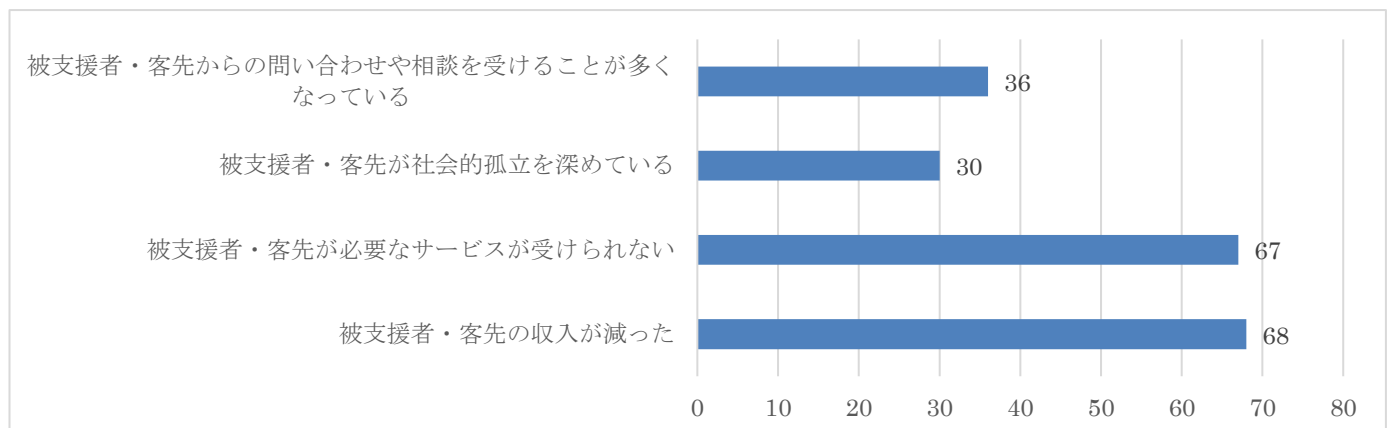
回収団体:188団体 回収率:48.6%



問3 新型コロナウイルス感染症によって貴団体が支援したり関与している人々、客先に影響がありましたか n=182(未回答5件)



問3-2 影響があると回答した場合(複数回答あり)



問3-2 その他自由記述

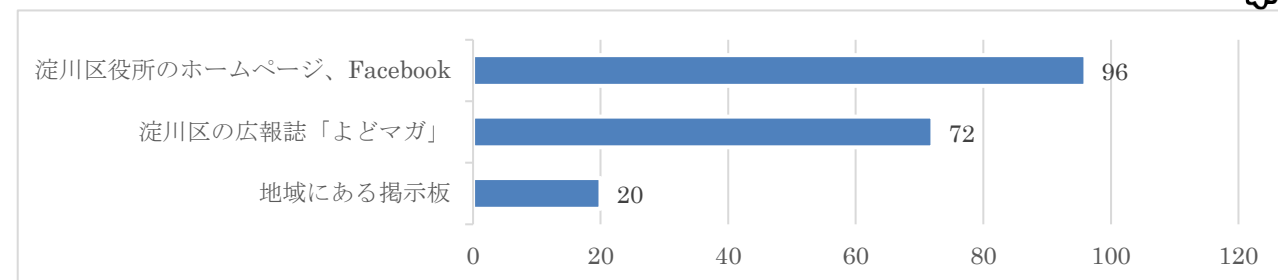
- ・保護者参加の行事をすべて中止にした
- ・今までしていたことを今年はしないことにした、というお客様が何人かいらっしゃった
- ・課外授業がなくなった（リトミック教室、体育教室など）
- ・食品の納入業者が倒産した
- ・スタッフドクターに会って安心感を得て居た人達が感染を意識して接触を控える様になっている
- ・生徒の学び方に変化が生じた。就職環境が悪化している
- ・認知症が加速。外出自粛生活から筋肉低下により足がおぼつかない高齢者が増えている
- ・普段利用しているサービスが受けられない。外出出来ないことによりADVが低下してしまっている
- ・ホームステイ期間が長期になり、家庭内でも過ごす時間が増えた為、日々成長著しい乳児（0歳～2歳児）は「戸外活動も制約され、ストレスが溜まっている」との声がどの家庭からも聞かれた
- ・面会制限をしたため、ご家族と会えなくなり、心理的、精神的に不安を持たれた方もいると思います

問4 3つの密をさけるための工夫をどのようにしましたか

- ・活動の見直し（集団での活動を減らす）。行事は縮小して、時間を空けて対応
- ・教室での医師講座をやめて全てオンライン講座にした
- ・ネット会議、ミーティングの切り替え
- ・リモートワーク ・出張禁止 ・会食の自粛 ・web会議の活用
- ・医療相談もオンライン相談に切り替えた
- ・常に窓を開け、換気をした。ソーシャルディスタンスを極力意識して行った（他3件）
- ・アクリルパネルの設置（他6件）
- ・時差出勤（4件）
- ・手洗い、手指消毒の徹底（他6件）
- ・使用部屋の消毒（毎日）。設備や玩具の消毒（毎日2回）
- ・3人掛けの机の両端しか使用せず二人掛けにした
- ・お待ちのお客様へ間隔をとるよう注意喚起のポスターや足型を床に貼った
- ・ご自宅に滞在していただき、こちらから1軒1軒訪問する事により、3つの密を避ける工夫をした
滞在時間を10分以内と定めることもした
- ・職員室や教室のドア、窓の開放・3人掛け机を2人までの使用とした
- ・面会の禁止、もしくは制限（時間、場所等）
- ・レイアウト調整。マスク着用食堂の座席制限
- ・ロビーの椅子を減らしたり、受付窓口を減らしたりした
- ・会議の縮小、中止。職員食堂を時間制、分散している。更衣室、EVを分ける（施設、デイ）
- ・時間をずらした活動を実施したり、空き部屋などの場所の活用をおこなったりした
- ・時間をずらすなどで、活動に参加する人数の抑制をおこなった
- ・執務室、食堂等でのフィジカルディスタンス（2m）の確保。出入口を入り口、出口に分ける。階段を一方通行にする。会議室の定員を減らす。Web会議の推奨。エレベーター定員の削減などなど
- ・室内での時間を減らし、外出（公園など）する時間を作った
- ・面会制限、及び禁止措置をとり外部から感染源を持ち込まない様にしました
- ・マスクの着用、手洗い、うがいの徹底、定期的に換気、利用者の配席の間隔を広くした
- ・コロナの対応策の検討や対応策の実施。対応策として密を減らすため教室の配置変更やビデオ活用の実施、生徒に対する検温や消毒措置の実施
- ・給食時、対面ではなく、一列での食事にした。午睡部屋を広い所にするためホールや部屋を広げた
プール入水を少人数でのグループに分けて入水するため必要以上の職員がいった
職員、保護者ともマスク着用。行事遠足等すべて中止した。職員会議は1人1テーブルにして密にならないよう配慮
- ・社内通達による社員自粛要請
- ・職員、学生全員マスク着用。全館消毒液設置、分散登校、オンライン授業の実施、時差出勤



問5 コロナ禍において、淀川区の情報をどこから得ましたか（複数回答有り）



問5-2 その他自由記述

- ・SNS
- ・インターネット、事業所間の連絡
- ・大阪市の情報は得ているが淀川区の情報は得ていない
- ・大阪市ホームページ（他2件）
- ・行政からのメールなど。行政への直接連絡
- ・ザ・淀川、区社協
- ・社協を中心とした連絡会
- ・周囲の人々の会話
- ・特に得ていない（他3件）
- ・保護者からの情報提供
- ・メール及び会議
- ・淀川区個別のリアルタイム情報は分からない
- ・淀川区としての情報はあまり伝わって来なかったが、厚労省や大阪府、大阪市の通達及びネット情報で把握を行いました
- ・淀川区と地域限定としては情報を見ていない
- ・淀川区役所のLINE



問6 新型コロナウイルス感染予防対策について、今後どのような対策・工夫を考えていますか

- ・アルコール消毒液の設置
- ・エレベーターボタン、階段手すり等のアルコール消毒
- ・館内の空気
- ・3人掛けの机の両端しか使用せず二人掛けにした
- ・床・机の消毒拭き
- ・換気扇の常時稼働
- ・アルコール消毒設置、生徒、講師とも全員マスク着用
- ・在宅、時差出勤
- ・オンライン会議
- ・非接触でのアルコール消毒
- ・日々の検温、健康確認
- ・アルコール消毒液、ジェル、手指消毒、使用したものの触れた物の消毒
- ・来館時の体温測定
- ・消毒剤、マスク、ペーパータオル等の備蓄
- ・アルコール消毒の徹底
- ・つい立ての設置
- ・インフルエンザが流行る時期にむけて対策が必要だと考えている
- ・空気清浄機（ウイルス除去）の導入
- ・大阪市より発信の「PCR陰性反応が出たら」のマニュアルをもとにそうなった時のシュミレーションなど職員間で話し合っておく
- ・外部との接触を出来るだけ避ける
- ・消毒
- ・感染予防用品の充足と備蓄を念頭に必需品購入と在庫状況の把握に力を入れる（マスク、ゴム手袋、消毒液）
- ・館内の出入業者等、特別用件、必須点検等重要な事由のある場合を除き、当面の間、入館をお控え頂いている
- ・産業医との連携強化
- ・ウェブ会議の活用
- ・WEB等を利用した面会等を企画中
- ・自分も含め、家族の体調管理をしっかりとこなう
- ・園児の家族が発熱の場合も、欠席をしてもらいクラスター発生を防ぐ
- ・新型コロナウイルスの新しい情報把握を行い、適切な対応を行う
- ・対面授業とメディア授業を併用するためのカリキュラム開発
- ・オンラインでの実習、産学連携活動の実施
- ・3つの密につながる行事については控えていく方針
- ・大阪コロナ追跡システム導入済、感染防止宣言ステッカー取得済、非接触型体温計の増加
- ・布マスク作りの講習会を開いた
- ・引き続き自宅に居ても健康情報、病気予防情報が入手出来るオンラインでの活動に力を入れたい